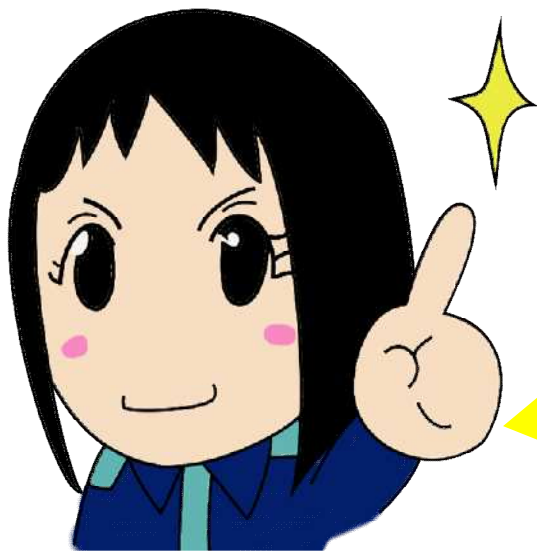


夏季における船舶海難の傾向と対策



夏季には、プレジャーボートの船舶海難が急増します。

その傾向と対策を知って、未然に船舶海難を防ぎましょう！

船舶海難の傾向

【全体】

- プレジャーボートの事故が急増
- 発航前検査で防ぐことができる可能性のある事故が5割以上
- エンジンや船体等の整備不良による事故が6割以上

【花火大会】

- 帰港中の事故が約7割

【水上オートバイ】

- 経験年数が浅いほど事故に遭う割合が高い



対策のポイント

【全体】

- 発航前にエンジンやバッテリーなどの検査を行いましょう。
(発航前検査の徹底 (マリンセーフティガイドブックの活用))

【花火大会】

- 帰路を急がず、適切な見張りを行い、安全な速力を保ちましょう。

【水上オートバイ】

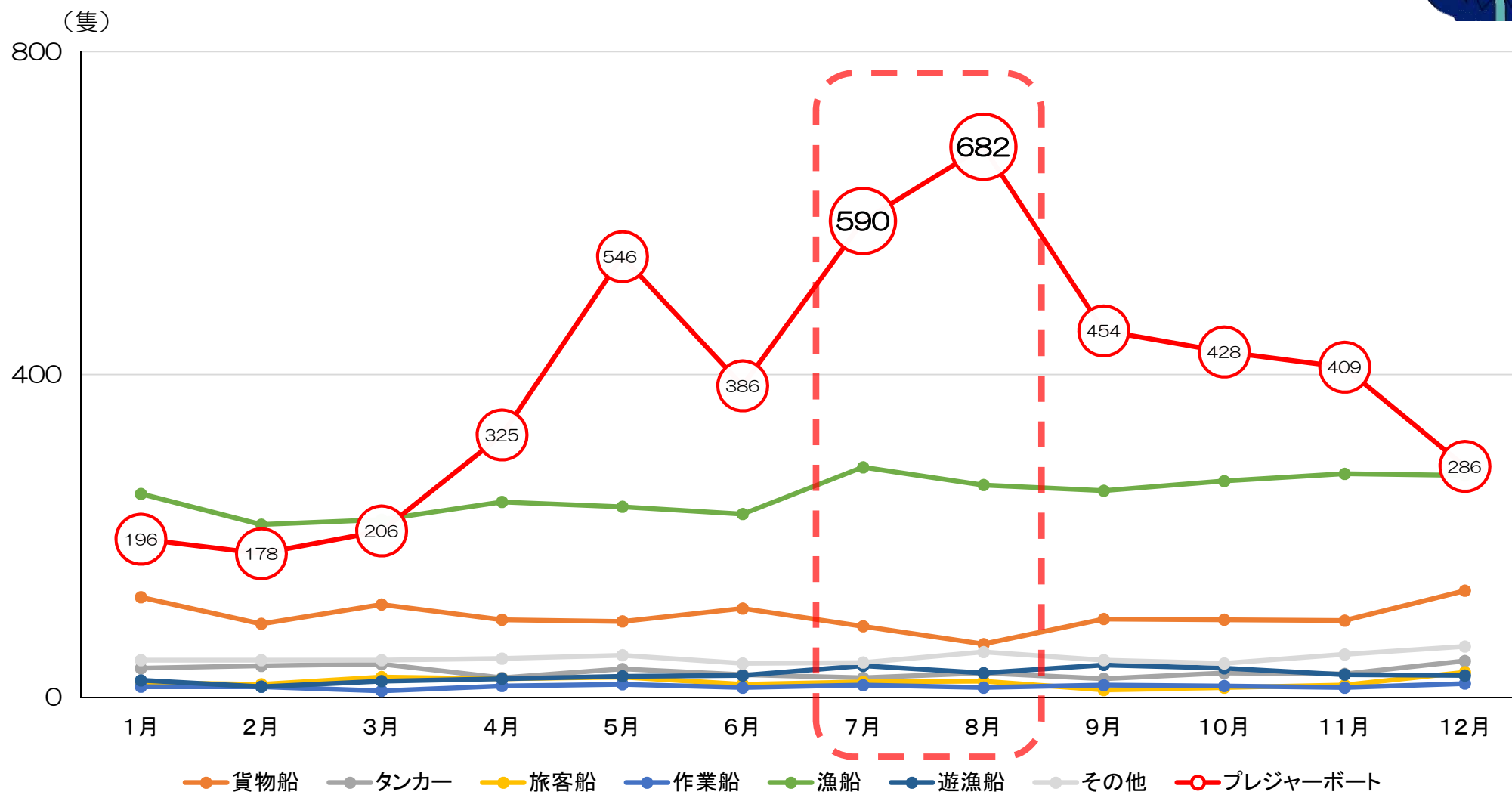
- 水上オートバイの性能と自身の操船技能を適切に把握しましょう。
- バナナボート等発見時は、徐行し、安全な速力で航行しましょう。



2. 月別船舶海難発生状況（H25-29累計）

月別 船舶海難発生状況

プレジャーボートの事故は、7・8月に最も多くなります。

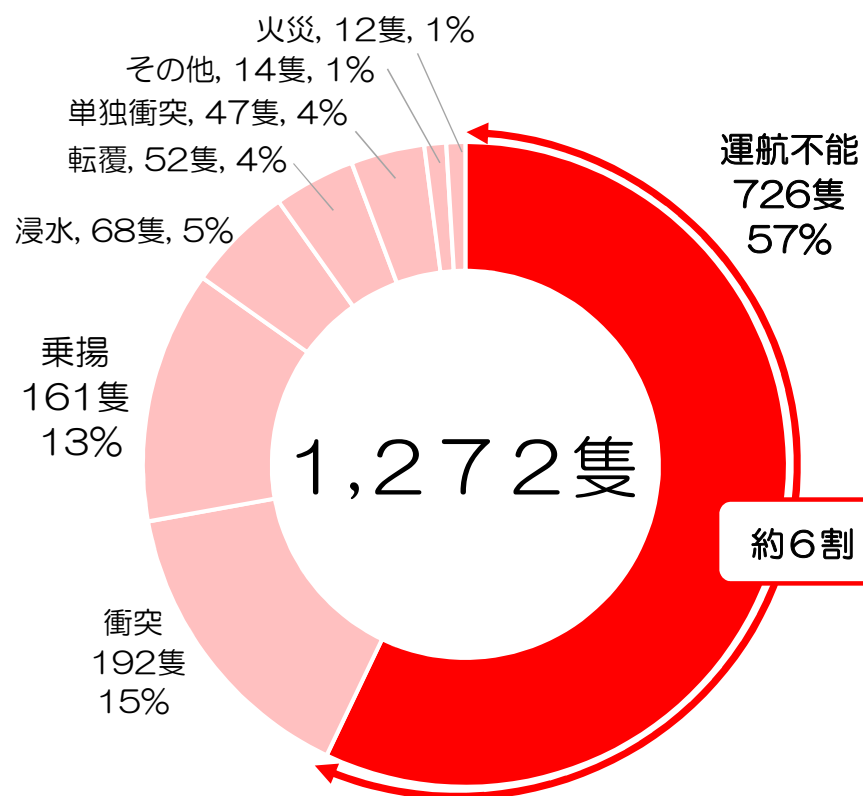


海難種類別発生状況とその詳細



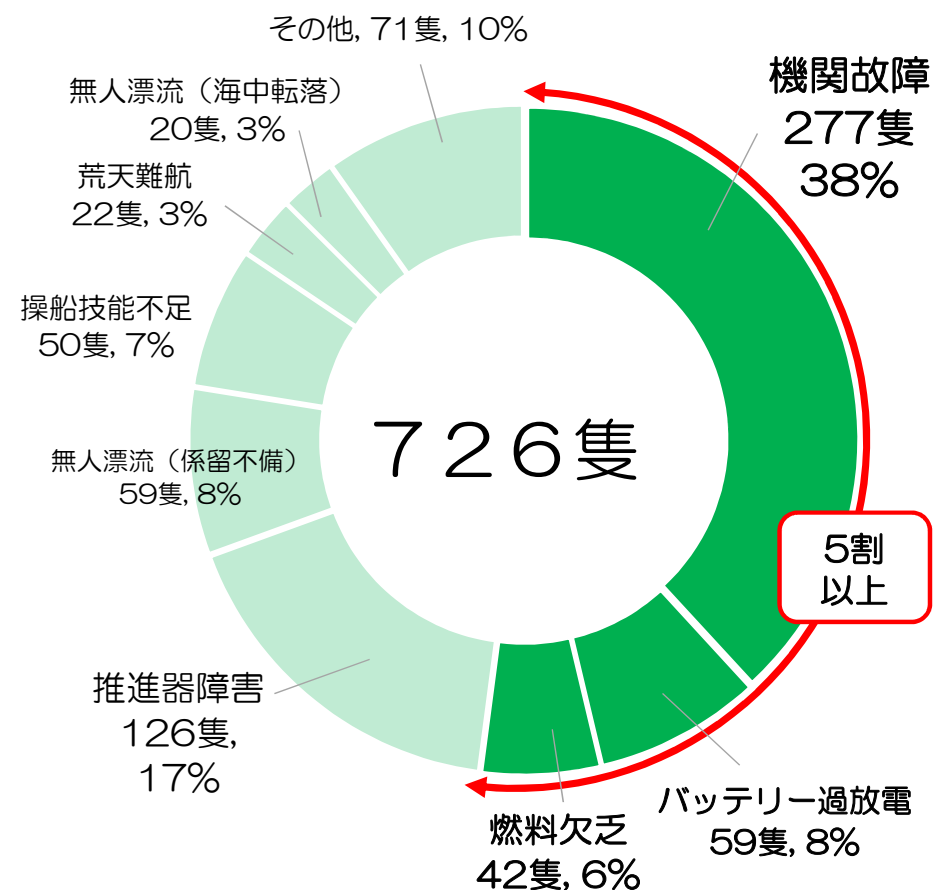
運航不能※のうち、発航前の検査で防ぐことができる可能性のある**機関故障、バッテリー過放電、燃料欠乏**が**5割以上**を占めています。

【海難種類別の割合】



※運航に必要な設備の故障等により航行に支障が生じたもの

【運航不能詳細別の割合】

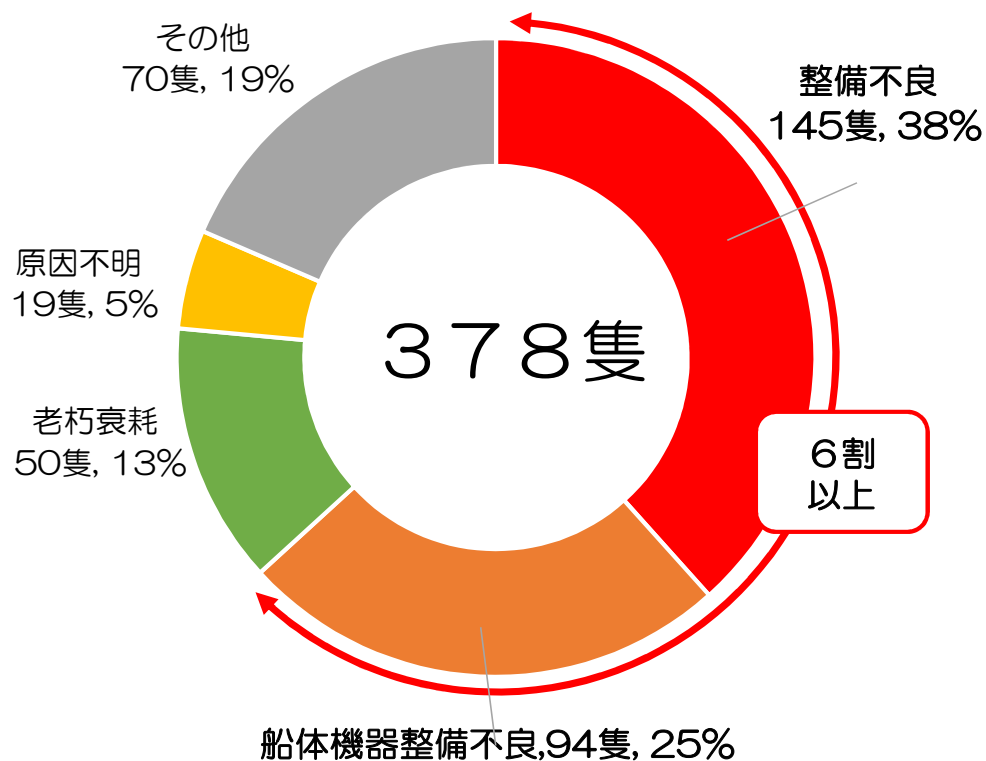


機関故障・バッテリー過放電・燃料欠乏の主原因と主な事例

エンジンや船体、**船内機器の整備不良**により発生する事故が**6割以上**を占めています。
発航前検査は、『**船長の義務**』です。
 発航前検査をしっかりと行って事故を未然に防ぎましょう。



【主原因別の割合】



【主な事例】

【事例1】

帰港中、燃料フィルターの目詰まりで機関の燃焼状態が不安定になった後、機関が停止して航行不能になったもの。

→ 燃料フィルターは汚れていませんか？

【事例2】

GPSや魚群探知機等の電装品を使用した状態で釣りをしていたところ、バッテリーが上がって船外機が起動不能となったもの。

→ 電装品の多用や、古いバッテリーを使用していないですか？

【事例3】

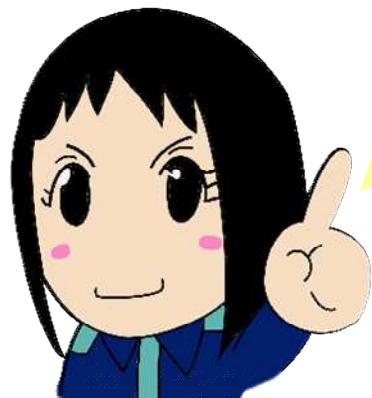
残燃料を確認せずクルージングに向かったところ、燃料がなくなり機関が起動できなくなったもの。

→ 航海計画に見合った十分な燃料がありますか？



マリンセーフティガイドブックを活用して事故を防ぎましょう！

マリンセーフティガイドブックとは



海上保安庁では、プレジャーボート・水上オートバイ・ミニボートの事故を減少させるため、**発航前検査チェックリスト**や**機関のトラブルシューティング**などを掲載した「マリンセーフティガイドブック」を作成しています。
同ガイドブックを活用して事故防止に努めましょう。

掲載URL：<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/jikotaisaku.html>

【表紙】



【発航前検査チェックリスト】



【トラブルシューティング】



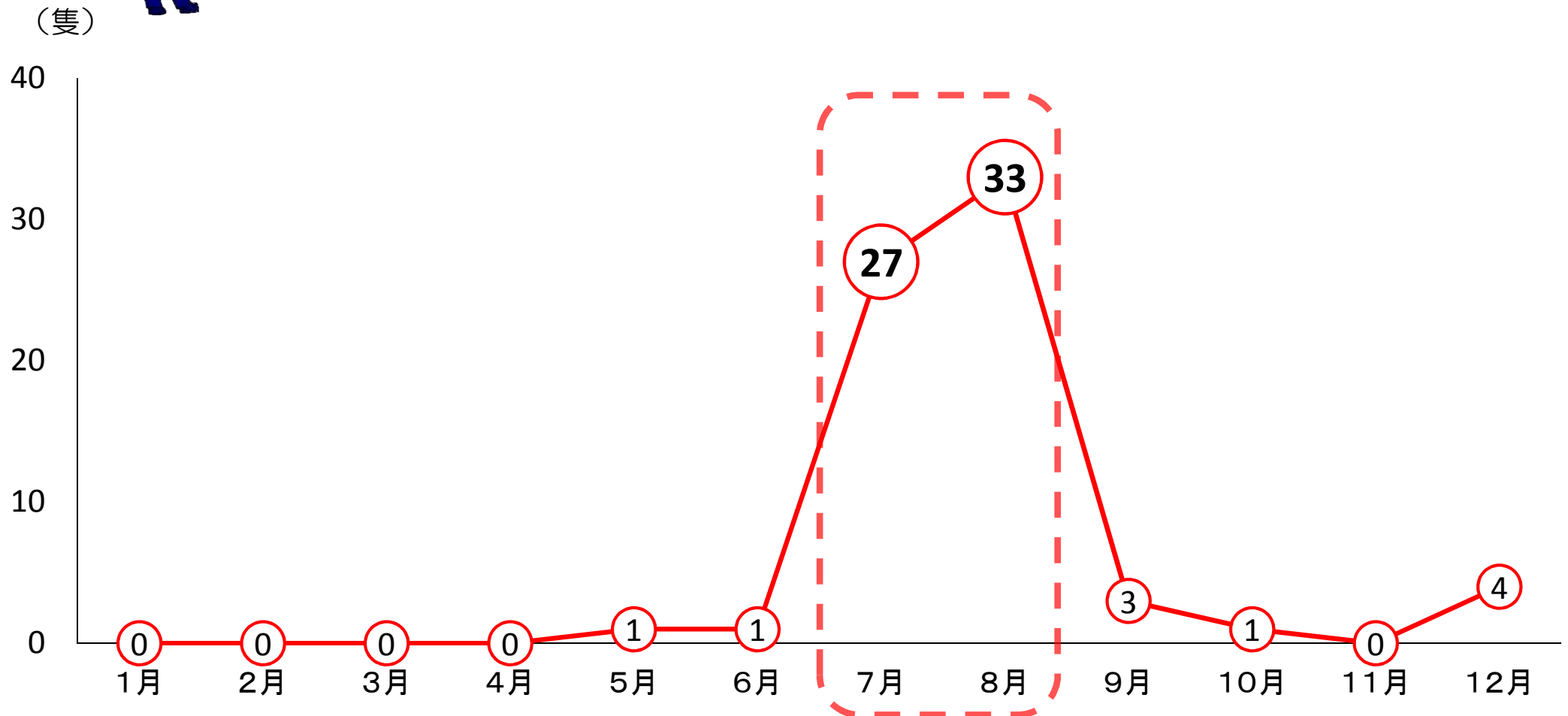
7・8月には、花火大会に関連する船舶海難が多くなります。
傾向を見てみましょう。



月別 花火大会に関連する船舶海難発生状況



7・8月は、花火大会に関連する事故が急増します。

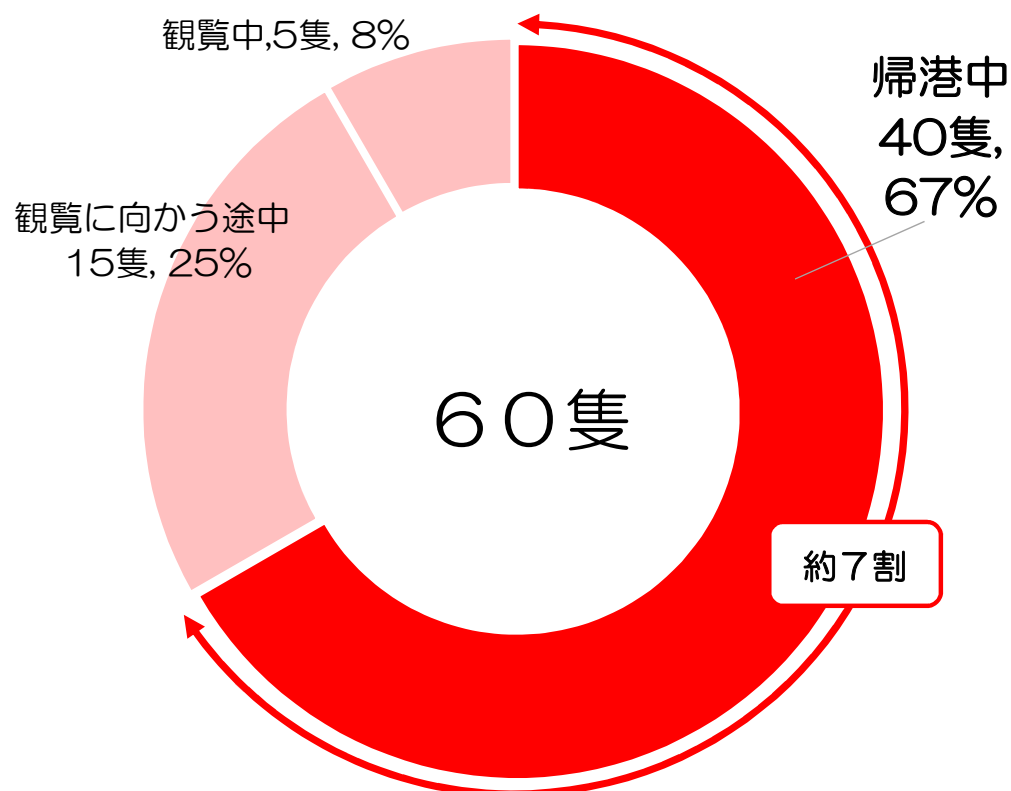


海難発生時の動態と主な事例



事故の**約7割**が、花火大会からの**帰港中に発生**しています。
多くの船が**一斉に帰港**を開始するので、帰路を急がず、
適切な見張り・安全な速力で航行しましょう。

【船舶海難発生時の動態別の割合】



【主な事例】

[事例1]

帰港中、同様に帰港中の他の船舶と衝突し、乗船者全員が負傷したもの。

→ 前方だけの見張りになっていませんか？

[事例2]

帰港中、目標とするブイを見間違えて防波堤に衝突し、乗船者10名全員が負傷したもの。

→ 夜間航行前の水路調査は行いましたか？

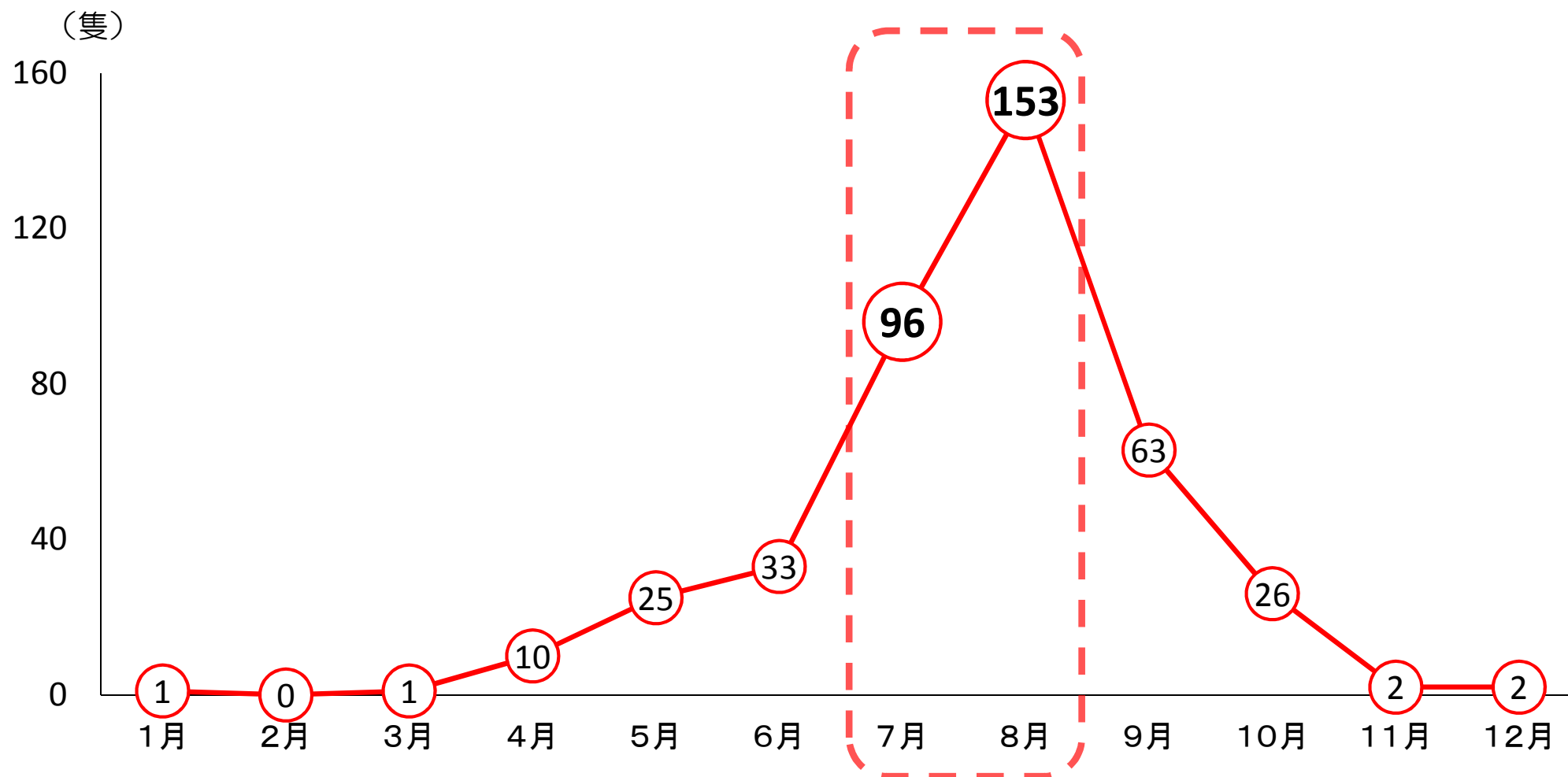


さらに、7・8月には、水上オートバイに関連する船舶海難も多くなります。
傾向を見てみましょう。

月別 水上オートバイに関連する船舶海難発生状況



水上オートバイに関連する事故も、7・8月に最も多くなります。

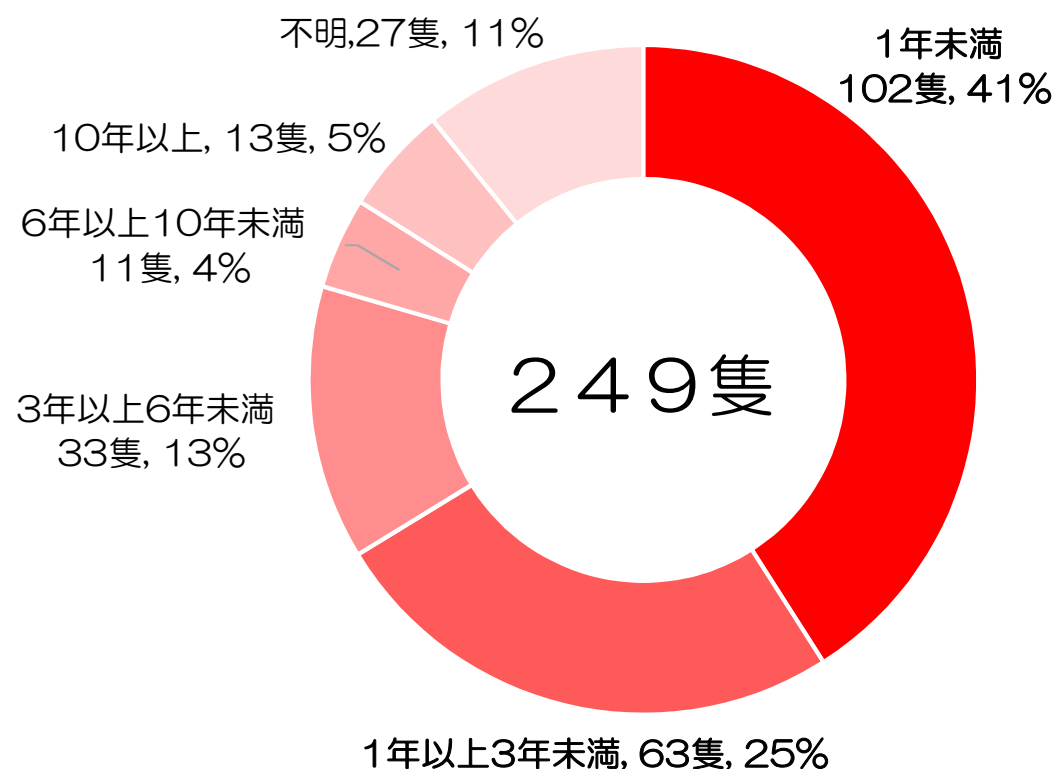


水上オートバイ操船者の経験年数と主な事例

水上オートバイは、機関の馬力が非常に大きく、急加速・高速航行が可能のため、**操船性能と自身の技能をよく理解**し、安全な操船を行う必要があります。



【事故者の経験年数別の割合】



【主な事例】

【事例1】

旋回する際、アクセルレバーとブレーキを誤って操作し、船体が急加速して護岸に乗揚げたもの。

→ 発航前に操作方法は確認しましたか？

【事例2】

遊走中に反転しようとしたところ、水上オートバイから振り落とされて操船者が海中転落し、重傷を負ったもの。

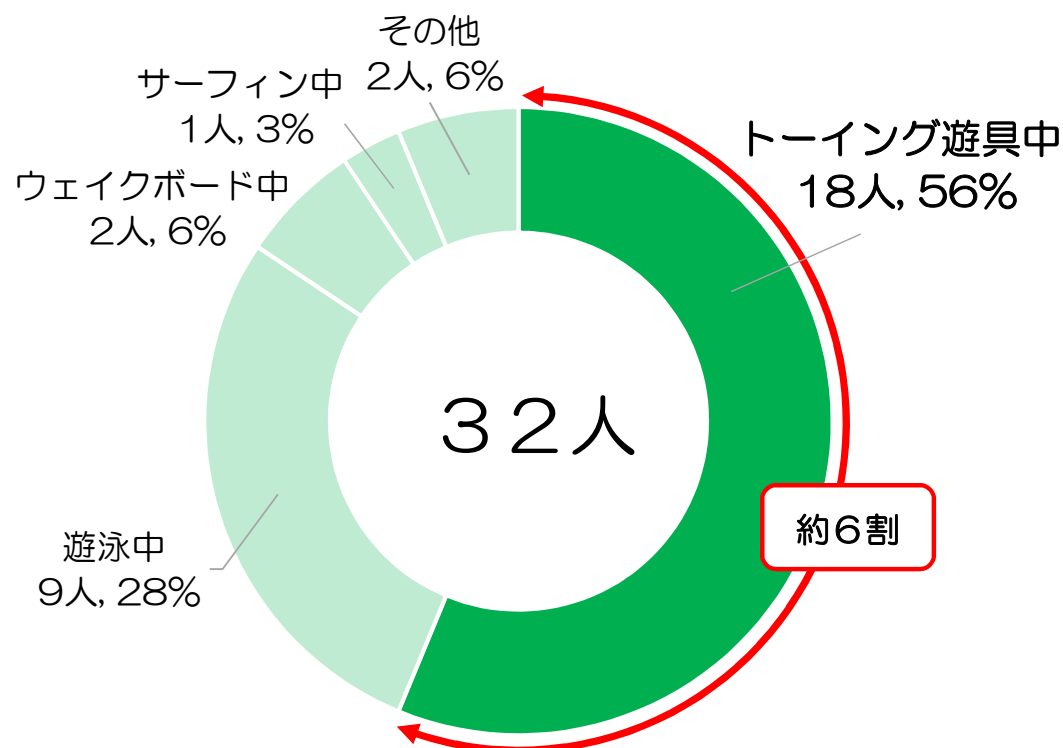
→ 余裕を持って操船できる速力ですか？

水上オートバイと衝突した人身海難



バナナボート、バスケットボート等のトーイング遊具は、乗っている人の意思でコントロールできず、不規則な動きをします。

【水上オートバイと衝突した事故者の活動内容別の割合】



【主な事例】

[事例1]

左後方からバナナボートを追走中、同ボートで遊走していた事故者が落水して衝突したもの。

[事例2]

バスケットボート付近で航行中、同ボートを曳航していた水上オートバイが左転した影響で同ボートが振れ回り、事故者と衝突したもの。



海上でトーイング遊具を見つけた際は、徐行し、安全な速力で航行しましょう



海上保安庁では、ウォーターアクティビティを誰もが安全に楽しめるように、事故防止のための情報を発信する総合安全情報サイト「ウォーターセーフティガイド」を開設しています。

同ガイドをご活用いただき、安全にマリンレジャーを楽しんでください。

掲載URL：https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/00_totalsafety.html

【ウォーターセーフティガイド】

海の安全情報トップ

English

ナローバンド

スマホ

携帯

Water Safety Guide

海上保安庁
JAPAN COAST GUARD

海の安全情報>ウォーターセーフティガイド>水上オートバイに関する情報

ウォーターセーフティガイド

水上オートバイ（PWC※）とは？

ウォータージェットを推進力として水上を滑走するプレジャーボートの1つで、操船には特殊小型船舶操縦士免許が必要です。バナナボートなどのトーイング遊具の曳航や、ジェット推進で宙に浮くフライボードなどにも利用されています。

PWCは機動性に優れ、スピード感などが楽しめる乗り物ですが、一方で、船舶や泳者との衝突のほか、同乗者が海中転落しジェット噴流により内臓を損傷する事故も発生しています。事故防止のため、安全に関する知識・技能を身に付けるとともに、必要な装備を準備して楽しみましょう。

※PWCとは、パーソナル・ウォーター・クラフト(=水上オートバイ)の略語です。

更新情報

● 平成30年4月24日 水上オートバイに関する情報ページを開設しました。

写真提供：マリンスポーツ財団

事前に天気や海の状況を確認して楽しく遊びましょう。



沿岸域情報提供システム
 海の初心者でもわかる!

海の安全情報

Maritime Information and Communication System

海の安全情報で提供している様々な情報

1 気象現況

日本沿岸の灯台等の航路標識で設置した気象情報(風速・風向・気圧・波高など)を30分間ごとに更新し、提供しています。



気象現況

2 気象警報・注意報等

気象庁が発表する気象警報・注意報等をリアルタイムに提供しています。

- 雷害情報
- 特殊警報、津波警報・注意報、気象警報・注意報、地方海上警報、船舶注意情報



気象警報・注意報

3 緊急情報

海上保安庁が発表する緊急情報をリアルタイムに提供しています。

- 要緊情報
- エアリアルレーダーに関する情報
- 台風の接近、津波の発生等に伴う船舶に与える悪影響等に関する情報
- 船舶の衝突、船舶の沈没・座礁、航行に関する情報
- 船舶の航行の困難、航行に関する情報など



広域緊急情報



海難の発生



航路標識の航行手続



海上工事

4 海上安全情報

海上工事・海上行事等による交通規制情報等を提供しています。



ライブカメラ

5 ライブカメラ

航路標識等に設置したウェブカメラの動画・画像を提供しています。



テレホンサービス



ホームページ
電子メール







海上保安庁

JAPAN COAST GUARD



スマートフォン用サイト

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>



各情報のアイコンをタップすると、詳細の画面が表示されます。さらにタップすると詳細な情報が表示されます。

- 現在地の検索**
現在地の緯度・経度を表示します。
- 気象状況**
気象状況のアイコンをタップすると「風速、気温」の数値等が閲覧できます。
- 海域情報**
海域のアイコンをタップすると船舶事故が多発する海域などの情報が閲覧できます。
- 船舶事故防止に係る安全告知情報等の表示**
全国内に共通する情報
海上保安庁等が提供している情報（地域情報）
※さらに地図をタップすると詳細情報が表示されます。
- 緊急情報**
緊急情報のアイコンをタップすると航行船舶に注意のある緊急情報が確認できます。
- 気象警報・注意警報等**
気象警報・注意警報等をタップすると気象庁が発布する気象警報・注意警報を確認できます。



イメージ図です。

パソコン用サイト

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/>



携帯電話用サイト

<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/index.html>



●本サービスは無料でご利用いただけます。サービスを利用するために必要な設備やウェブアクセス、電子メールの送受信等に必要となる費用（送金料）については利用者の負担となります。